

FACE

患者さんの治療方針は 乳腺外科医全員で検討

高校時代、大学時代ともテニス部に所属し真っ黒に日焼けしていました。京都大学大学院や留学先の米国ピッツバーグ大学では乳がん術後乳房再建のための脂肪組織再生について研究を行っていました。本邦で脂肪移植が乳がん術後の乳房再建に臨床応用できる日も遠くはないと思われ、心待ちにしています。一男一女の母で、小児科医の夫はじめ多くの人のサポートを得ながら今まで仕事や研究を継続してきました。当院では様々な職種のスタッフが協力しながら仕事をしており、忙しいながらもとても充実した日々をすごしています。

乳腺外科には、2023年7月現在、常勤医師4名+非常勤医師1名が在籍しています。治療方針は乳腺外科医全員で週1回行う「乳腺外科カンファレンス」で検討の上決定し、患者さんに説明しています。各患者さんの病状を乳腺外科医全員が把握しており、入院される際にはチームで診療を行っています。

乳腺外科 科長

辻 和香子



京都大学博士(医学)
日本外科学会 専門医・指導医
日本乳癌学会 専門医・指導医
滋賀県大津市出身
2014年7月より当院に着任

Information

院内紹介動画を配信中!



ふだんは入ることができない手術室の様子などを動画で紹介しています。ぜひご覧ください。

- ▶臨床工学部編～臨床工学技士について～
- ▶臨床工学部編～人工呼吸器～
- ▶リハビリテーション科～動画編～など

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/center/322221.html>



ご意見・ご感想募集

滋賀県立総合病院広報誌「FACE」へのご意見やご感想をぜひお寄せください。お住まい、年齢、ご意見・ご感想を下記フォームよりお送りください。

滋賀県立総合病院の広報誌
「FACE」に関するアンケートフォーム



心のふれあいを大切にして安全で質の高い医療福祉を創生し提供する。

滋賀県立総合病院
Shiga General Hospital

〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4番30号
TEL.077-582-5031(代) / 0570-00-5031(ナビダイヤル)
[診療受付時間] 午前8時30分～午前11時 ※2科受診の患者様を除く
[休診日] 土曜日・日曜日、祝祭日/年末年始(12/29～1/3)
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/index.html>

病院HP



滋賀県立総合病院

FACE

滋賀県立総合病院広報誌

発行：滋賀県立総合病院広報委員会(事務局総務課)
発行日：2023年8月

バックナンバーも
ご覧いただけます



【特集】乳腺外科





乳がん患者に寄り添う 女性医師たち

手術、薬物療法、放射線療法など多岐にわたる治療法

乳がんは近年急増しており、滋賀県も例外ではありません。当院の乳がん手術件数は、2022年には160件まで増加し、乳がん症例数は滋賀県内で最多となりました。



乳腺外科での主な治療は手術です。乳房部分切除術を行う際、乳房のボリュームの15%以上を失うと整容性が保たれないため、乳房部分切除術が可能方には、整容性を保つ手術「オンコプラスティックサージャリー」を心がけています。また乳房全切除術後に乳房再建を希望される患者さんには形成外科医師と協力して再建手術を受けていただいています。

乳がんの治療には、薬物療法(化学療法、内分泌療法[ホルモン療法]、分子標的療法、免疫チェックポイント阻害剤)、遺伝性乳がん、放射線療法、緩和医療等の多岐にわたる知識も必要です。当院では外来化学療法センター、遺伝子診療センター、形成外科、放射線治療科、リハビリテーション科、緩和ケア科等と連携しながら乳がん診療を行なっています。

その中でも、化学療法による副作用として現れる脱毛は、乳がん患者さんにとって大きな精神的負担となります。脱毛でも特に永久脱毛を防ぎたいとの思いで、2022年にPAXMAN(頭皮冷却装置)を導入しました。

各診療科や地域の医療機関の協力を得て

当院には各診療科が揃っており、例えば化学療法を施行する際の有害事象(薬剤性間質性肺炎、抗がん剤関連心筋障害、免疫チェックポイント阻害剤による内分泌異常など)の発生時には専門診療科にコンサルトをしてすぐに対応することができます。

乳がん術後の内分泌療法(ホルモン療法)は5年から10年間で長期間必要となります。乳がん術後の病状が安定している患者さんの内服ホルモン剤の処方をも県内の開業医さんに依頼させていただく事が多く、地域の開業医さんと連携をとり、対応にあたっています。

大学病院や研究ネットワークとも連携

一般診療に加え、今後の医学の進歩のため、各種学会や京都大学医学部附属病院乳腺外科、京都乳癌研究ネットワーク等と連携をとり、複数の臨床試験や治験に参加しています。さらに、滋賀県内唯一の乳腺専門研修カリキュラム基幹施設、日本乳癌学会認定施設として若手乳腺外科医の育成の役割も担っています。

PAXMAN

パックスマンとは？

抗がん剤副作用による脱毛抑制を目的とした頭皮冷却装置です。装置内で-4℃に冷却されたクーラント(冷却液)がキャップ内を継続的に循環し、頭皮を一定の温度に維持します。

抗がん剤投与前から頭皮を冷却し、頭皮の血流を低下させることで、毛根に対する薬剤のダメージを軽減します。



冷却装置



キャップ



キャップカバー



患者さんのサイズにあったキャップを丁寧に密着させます

当院で手術を予定している、あるいは受けられた周術期の化学療法を受けられる患者さんのうち、強いご希望のある方に使用いただいています。費用は保険診療外のため、全額自己負担となります。

1回につき / 10,900円 キャップ / 90,000円(個人購入)